

2次整備可能地の選定方法について

1次整備可能地から候補地を絞り込むため、2次整備可能地の選定項目と選定基準を検討して表に示す。

表 選定項目と選定基準

選定分野	選定項目	選定基準
自然条件	地形・地質・地盤の概況	地形・地質・地盤の概況を既存資料から評価 (地盤の透水性, 支持力等)
	希少動植物の生息可能性	植生自然度, 植生区分を既存資料から整理
生活環境 条件	利水状況	農業用水等の有無を評価
	道路状況	取付道路の幅員, 道路勾配, 最寄の主要道路の交通量を評価
社会条件	埋蔵文化財包蔵地の有無	埋蔵文化財包蔵地を回避しての施設配置が可能であるかを評価
	静穏な環境を保全する必要がある施設からの距離	静穏な環境を保全する必要がある施設(学校, 病院, 福祉施設等)における生活環境を保全する必要があるため, これら施設からの距離を評価
	居住地からの距離	居住地からの距離を評価
	観光地からの距離	観光地における生活環境を保全する必要があるため, 観光地の有無と観光地からの距離を評価
建設条件	地形, 現況土地利用の概況	地形や現況土地利用から, 最終処分場に必要な各種施設を配置できる敷地を有すること
	湖沼, ため池からの距離	湖沼, ため池と最終処分場の機能を保全する必要があるため, 湖沼, ため池からの距離を評価
	開発計画の有無	既に開発計画があり, 開発計画を回避しての施設配置が可能であるかを評価